取扱説明書

®

SoundDock® 10

digital music system

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止を意味します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグを抜く

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。

交換を依頼

電源コードや電源プラグが傷んだ場合は交換する
電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●設置、保管するとき

専用品を使用

電源コードは付属の専用品を使用する
専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用電源コードを他の機器に使うこともお止めください。

必ず実行

電源プラグは、抜き易い位置にあるコンセントに接続する
万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

確実に差す

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱による感電や火災の原因となります。また、ほこりがたまり易くなったり、プラグの金属部分に触れる危険性があります。

禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。

禁止

電源コードを傷付けない
電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。特に、電源プラグ部分やコードが本体から出ている部分はお気を付けください。

禁止

タコ足配線をしない
コンセントや配線器具に同時に多数の機器を接続して電源を取ると、コードなどが過熱し、火災の原因となります。

水ぬれ禁止

火災や感電の危険性を低減するために、機器を雨や湿気にさらさない

水ぬれ禁止

水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

●設置、保管するとき

警告

機器内部に水をたらしたりかけたり、花びんのように水を満たしたものをそばに置かない
他の電気製品と同様に、機器内部に水分をこぼしたりしないでください。故障や火災の原因となります。

風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

交流 100 ボルトの電源を使用する
海外などで、表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

通風孔をふさがない
布をかぶせたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、通気が不十分な狭いスペースに押し込んだりしないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因となります。

底面を下にして設置する
通気を正しく行うために、底面を下にして設置します。

梱包袋は安全な場所に保管する
製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。

注意

高温の場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置 ・ 保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。

ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない
ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

ゴムやビニール製品に本体を長期間接触させない
外装が変質し跡が残ることがあります。

移動させる場合は、電源コードその他の接続線を外す
電源コードに無理な力が加わって傷付き、火災や感電の原因となることがあります。また他の接続線が引っかかり、けがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

●使用するとき

警告

機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない
引火して火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない
感電の原因となります。

本体のカバーを外したり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

小さな部品は幼児の手の届かないところに置く
誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。

注意

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
本機は電源を切った状態でも、常に微弱な電流が流れています。長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れのときは電源プラグを抜く
安全のため、お手入れは電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除をする
5 年に一度程度を目安に、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

電源プラグやコンセント部の掃除をする
電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。

●電池使用時

⚠ 警告

電池内部から漏れ出た液（電解液）には直接ふれない
- 液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

指定された種類以外の電池は使用しない
発熱や破裂、液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を加熱、火の中に入れるなどしない
過度の加熱や火の中に入れると液漏れ、破裂のおそれがあります。過度に温度が上がった場合、および火中投入した場合には、電池の内圧が高まり、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を分解しない
無理に電池を分解しようとすると、手指を傷つけたり、電池内部の電解液が飛び散って衣服を損傷したり、皮膚のただれや化学やけどを起こすばかりでなく、目に入った場合には、失明するおそれがあります。

電池のプラス㊉とマイナス㊀をショートさせない
ショート（短絡）させると電池は激しく発熱し、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。ショート（短絡）事故防止のためコイン、ネックレス、ガムの包装紙などの金属と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。また、アルミホイル、ガムの包装紙などで電池を包まないでください。

乾電池は充電しない
破裂や液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池端子に直接はんだ付けをしない
電池を加熱することになり、温度上昇によって使用している樹脂部品の変形を生じ、液漏れ、内部ショートなどの異常を生じ発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

●お手入れについて

- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

●電池使用時

⚠ 注意

種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
混用すると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。未使用の電池と使用済み、または、使いかけの電池を混ぜて使うと、早く消耗した電池が過度の放電状態（過放電）となり、不経済なばかりではなく液漏れ、破裂の原因となります。

投げつけたりして強い衝撃を与えない
電池を変形させないでください。電池を落下させて変形させたり、無理な力を加えて変形させると、電池封口部のゆがみによって液漏れ、内部ショートなどの異常を生じ発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

使い切った電池はすぐに機器から取り出す
過放電させると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

極性表示 (プラス㊉とマイナス ㊀) に従って正しく入れる
電池のプラス㊉とマイナス㊀を逆に接続すると、充電されたり、機器によっては電池がショート（短絡）状態になり発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く
誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

正しく処分する
乾電池は一般の不燃ごみとして処理してよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。端子部に他の電池が接続すると、電池が充電または、過放電され、破裂や発火することがあります。廃棄時には端子部にセロファンテープなどを貼り付けて絶縁してください。

全般的な注意事項

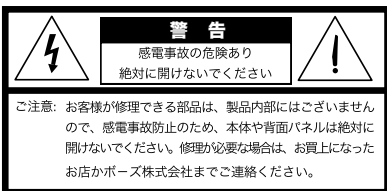
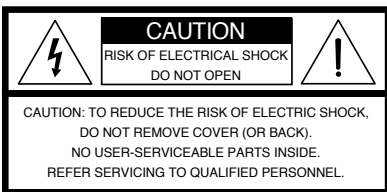
1. 機器の使用前に、全ての説明をお読みください。
2. 将来の参照用として、取扱説明書を保管してください。
3. 機器および取扱説明書上に記載された警告内容にご留意ください。
4. 指示にしたがってください。
5. 機器外装の安全マークをご確認ください。

本製品は、EMC 指令 2004/108/EC および Low Voltage Directive(LVD) 2006/95/EC に準拠しています。
適合申請書は <www.Bose.com/static/compliance/index.html> にてご参照いただけます。

CAUTION
RISK OF ELECTRICAL SHOCK
DO NOT OPEN

CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL.

警　告
感電事故の危険あり
絶対に開けないでください

ご注意：お客様が修理できる部品は、製品内部にはございませんので、感電事故防止のため、本体や背面パネルは絶対に開けないでください。修理が必要な場合は、お買上になったお店かボーズ株式会社までご連絡ください。

製品に左のような安全に関する表示があります。表示内容は左下の日本語をご参照ください。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、この取扱説明書の中で、取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることをお客様に警告するものです。

Class B emissions

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations (Canada only).

If applicable, the radio communication device incorporated into this apparatus meets all requirements of the Industry Canada standard RSS-310 (Canada only).

Information about products that generate electrical noise

U.S.A. only

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, this is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Any changes to this device not expressly approved by Bose Corporation may void the user's authority to operate this device.

Canada

This Class B digital apparatus complies with the Canadian ICES-003 Class B specification.

はじめに

この度はSoundDock 10 digital music systemをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご家庭で最高の音響システムとして、SoundDock 10 digital music systemは高品質でお部屋に満ち溢れる音楽を提供いたします。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。

特長

・独自の音響デザインにより、深く豊かなサウンドを提供します。

・リモコンで、入力ソース切り替えを始めとする基本作業を行うことができます。

・3.5mmアナログ音声入力端子を装備しています。

・Dockコネクタを装備したiPod（第4世代以降のiPod、iPod video、iPod nano、iPod photo、iPod mini、iPod classic、iPod touch）およびiPhone 3GS、iPhone 3G、iPhoneに対応しています。

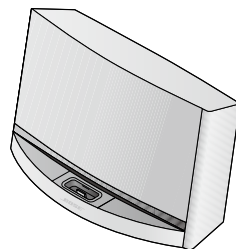
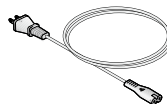
・iPodやiPhoneを、ドックに乗せた状態で充電できます。

・iPodやiPhoneが再生するビデオを映像を、コンポジット出力端子から出力することができます。

・オプションのBluetooth dock（別売）も使用可能です。

開梱時のご注意

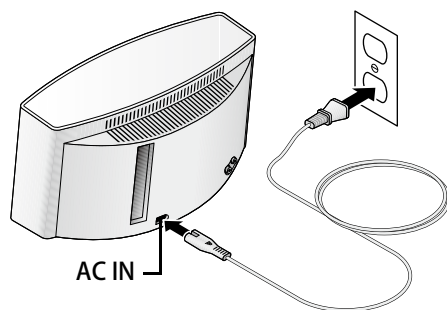
以下の内容物が全て同梱されているか、ご確認ください。後日、機器の搬送が必要となった場合のために、箱や梱包材を保管されることをおすすめいたします。

万一、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

⚠ **警告：**

窒息の危険を避けるため、スピーカーを包んでいた袋はお子様の手の届かないところに保存してください。

製品本体背面のラベル上に記載されているシリアルナンバーを、保証書に記入しておいてください。

システムの準備

1. 本体を平らで安定しているところに設置します。
2. ACコードの小さい方のプラグを背面の電源コネクターに接続します。
3. 反対側のプラグを壁のACコンセントに差し込みます。2回短いトーンが聞こえると準備完了です。

注 意

製品のゴム足について

- ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性があります。事前にご確認のうえご使用ください。
- 付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

お知らせ：

このシステムの音質は置き場所によって変化します。たとえば、部屋の隅に近づけると低音が増強し、隅から離すと低音が減少します。

⚠ 注意：

製品の通風孔はふさがないでください。上部にあるスリットから内部の電子回路の放熱を行っていますので、おおわないようにしてください。放熱できませんと、火災や故障の原因となります。

お知らせ：

SoundDock 10 sysytem のスピーカ部分と、ドックコネクターが装備されている部分がしっかり取り付けられていないようみえますが、これはスピーカーからの振動や共振が、ドックにセットされているiPodやiPhoneに伝わらないようにするための「Dockサスペンションシステム」によるものです。故障ではありません。

電源の on/off について

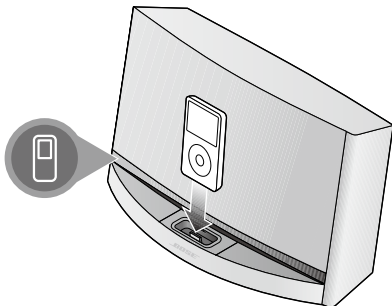
電源を入れるには次の3通りの方法があります：

- ドックに機器をセットします。
- リモコンでOffボタン以外のいずれかのボタンを押します。
- ドックにセットしてある機器を再生します。

電源を切る場合は、次のどちらかの操作を行ってください：

- リモコンのOffボタンを押します。
- ドックから機器を外します。

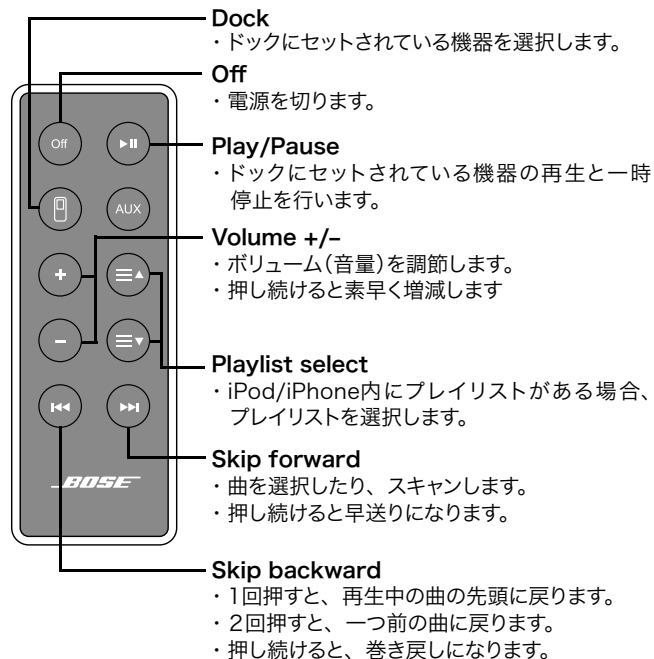
ドックにセットした機器で音楽を聞く

1. iPodあるいはiPhoneをドックにセットします。前面パネル上のドックインジケーターが点灯します。

2. リモコンで操作します。

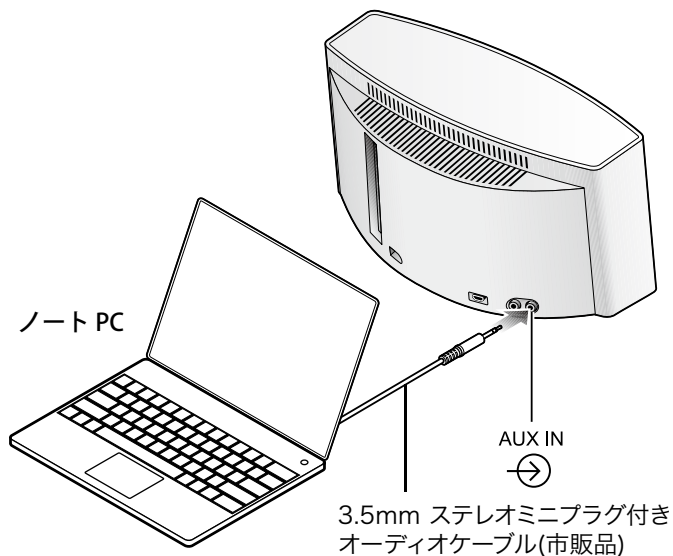
お知らせ：

本機は、ドックにセットされたiPod/iPhoneを常に充電します。

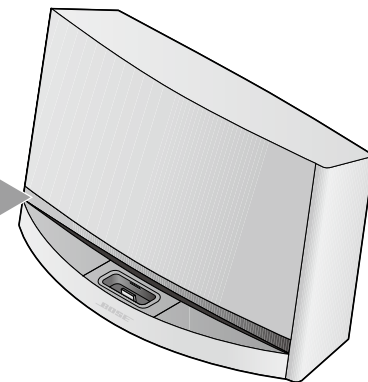
お知らせ：

本機にはほとんどのiPodシリーズに対応するドックアダプターが付属しています。もし、お持ちのiPodに付属してきたドックアダプターをご使用になりたい場合は、11ページの“ドックアダプターの交換”を参照してください。

他の機器を聞く

PCやCDプレーヤー、テレビ、MP3プレーヤーなどの音声出力をAUX IN入力端子に接続できます。AUX IN入力端子は、3.5mmステレオミニジャックです。

1. 市販の3.5mmステレオミニプラグ付きオーディオケーブルでAUX IN入力端子に接続します。

お知らせ：

AUXを選択するには、必ずAUX IN入力端子にプラグを差し込んでください。

2. リモコンのAUXボタンを押します。前面パネル上のAUX INインジケーターが点灯します。

3. 外部の機器の電源を入れて、再生を行います。
4. 外部の機器の音量を最大近くまで上げておきます。

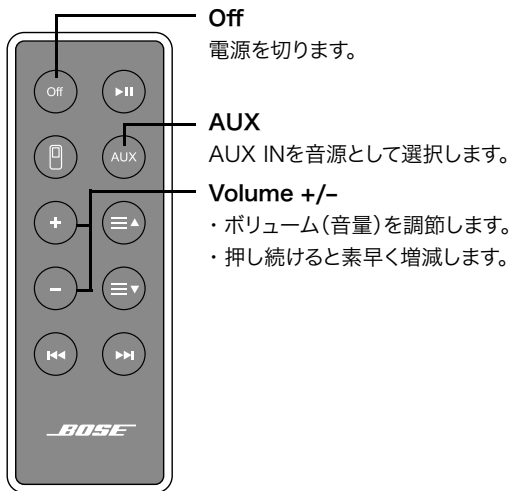
お知らせ：

SoundDock 10 systemは、音質補正をかけない状態で最良の音響パフォーマンスが発揮されるよう設計されています。再生する機器のトーンコントロールやイコライザーなどの音質補正をかけない状態でお使いください。

5. リモコンを使用して、ボリューム(音量)を調節します。

Off
電源を切ります。

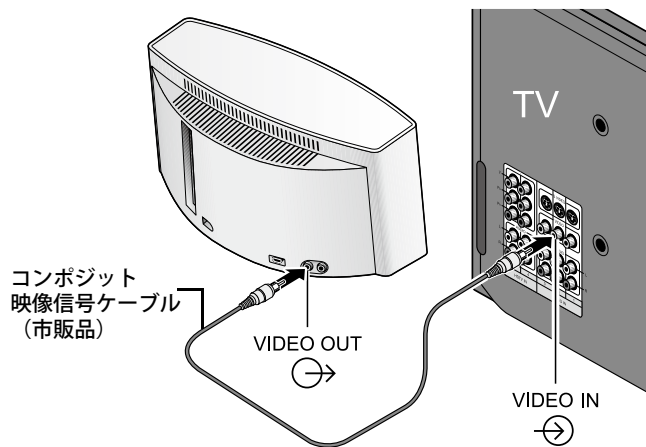
AUX
AUX INを音源として選択します。

Volume +/–
・ボリューム(音量)を調節します。
・押し続けると素早く増減します。

お知らせ：

・付属のリモコンでAUX INに接続されている機器の操作はできません。
・ドックにセットされているiPodやiPhoneは、AUX INに接続されている機器を再生中でも充電を続けます。

映像出力の使い方

動画再生に対応しているiPodやiPhoneをドックにセットして動画を再生をすると、本機のVIDEO OUT端子からコンポジット映像信号が出力されます(一部出力されない動画もあります)。

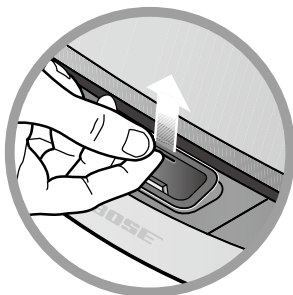
テレビやPCモニターの映像入力端子に、一般的なコンポジット映像信号ケーブルで本機のVIDEO OUT出力端子と接続すると、動画をご覧になる事ができます。テレビやPCモニターは、必ず本機のVIDEO OUT出力と接続している入力端子を選択してください。

ドックアダプターの交換

SoundDock 10 digital music systemはiPhoneやほとんどのiPodをセットする事ができるドックアダプターが付属しています。

ドック部分にお持ちのiPodに付属するドックアダプターをご使用になりたい場合、下記の手順でドックアダプターを取り外してください。

1. 本機の電源コードを抜いてください。

2. ドックアダプターの後ろ側を引き上げて、ドックから取り外します。

後ろ側が引き上げづらい場合は、プラスチックや木など非金属の平らな道具をスロットに差し込み、持ち上げてください。

お手入れについて

定期的にお手入れとリモコンの電池交換を行ってください。

お手入れ方法

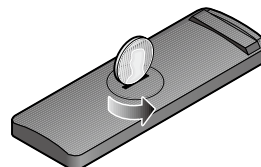
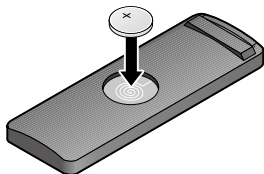
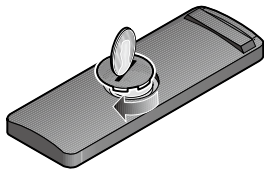
製品の表面が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。グリルの部分は、掃除機の吸引力を弱にしてそっと吸い取ってください。

・アルコール、ベンジン、シンナー、あるいはスプレー式殺虫剤、消臭剤、芳香剤などの揮発性のものをかけないでください。外装の変質、変色、塗料のはがれなどの原因となることがあります。

・本機の開口部から液体をこぼしたり、物を入れたりしないでください。

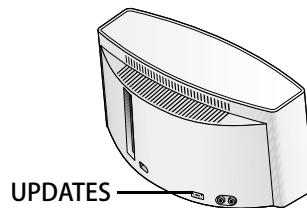
リモコンの電池の交換方法

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まり効きが悪くなってきます。このような症状が出てきたらリモコンの電池を新しいものに交換してください。電池を交換する場合は、3Vリチウムボタン電池(CR2032またはDL2032)をご使用ください。

1. 硬貨などを使用し、バッテリーカバーを反時計方向に回して外します。

2. 使用済み電池を取り外し、新しい電池と交換してください。電池の極性は＋側が上になっていることを確認してください。

3. バッテリーカバーをはめ、時計方向にロックするまで回してください。

本機に接続できるiPod/iPhone

お持ちのiPodやiPhoneが本機に対応しているかお知りになりたい場合は、弊社ホームページ(www.bose.co.jp)にて最新の適合情報をご確認ください。

アップデート端子

背面のUPDATESコネクターは、将来的にSoundDock 10 digital music systemのソフトウェアを更新する際にのみ使用します。

トラブルシューティング

操作に問題が起きた場合次ページの“故障かな？と思ったら”を参照してください。ただし、作業を行う前にまず次の事を行ってください。

・iPodやiPhoneを一度本機から外して、双方のコネクター部分に異常のないことを確認して、もう一度はめ直してください。

・iPodやiPhoneのソフトウェアのバージョンが最新の物か確認してみてください。

故障かな?と思ったら

症状	対処方法
音が出ない	・ACコードが、本機背面の電源コネクターとACコンセントに確実に接続されているか確認する。 ・リモコンの音源ボタン(dock または AUX)を押してみる。 ・リモコンの再生/一時停止ボタンを押してみる。 ・音量を上げてみる。 ・AUX IN入力端子に接続されている音源機器を再生している場合は、その音源機器の音量を上げてみる。 ・iPodやiPhoneを一旦ドックから外し、5秒待ってセットし直してみる。 ・システムをリセットするために、ACコードを外して、1分間経過後、再び接続し直してみる。
iPod や iPhone の充電ができない	・ACコードが正しく接続されているか確認する。 ・コンセントにAC100V電源が来ているか確認する。
iPod や iPhone のプレイリストが選べない	・iPodやiPhoneに音楽を取り込む際に、プレイリストを作っているか確認する。
iPod や iPhone がリモコンのボタンを押しても反応しない	・リモコンと本機との間に障害物がないか確認する。 ・リモコンの発光部(リモコンの前方部)をきれいな乾いた柔らかい布で拭いてみる。 ・部屋の照明や日光による影響が無いか、リモコンを別の位置から使用してみる。 ・iPodやiPhoneを一旦ドックから外し、5秒待ってセットし直してみる。 ・リモコンの電池が、正しくセットされていることを確認する(11ページ参照)。
システムが全く動かない	・システムをリセットするために、ACコードを外して、1分間経過後、再び接続し直してみる。 ・上記の対応を行っても問題が解消しない場合は、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターへご連絡ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570-080-023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

仕様

外部入力	3.5mmステレオミニジャック×1
映像出力	コンポジット映像×1
電源	AC100V（50/60Hz）
外形寸法	431（W）×223.5（H）×244（D）mm
質量	8.4kg
カラー	シルバー
付属品	ACコード、リモコン

SoundDockおよび、SoundDock 10 systemの固有のデザインは米国と他国における Bose Corporationの登録商標です。iPodは、米国と他国で登録された、Apple Inc.の商標です。他のすべてのマークは、Bose Corporationの登録商標と商標です。

iPhoneはApple Inc.の商標です。その他の商標はBose Corporationに帰属します。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodおよびiPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Bose Corporationはライセンスの基に使用しています。

Made for iPod iPhone

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1434　10・10-B（B）